

令和6年2月

## 早鞆瀬戸における異常潮流に関する調査委員会

### 1 委員会報告書概要

本委員会では、わが国有数の海上交通の要衝である関門海峡において、同海峡の早鞆瀬戸の潮流計による潮流の流向・流速の実測値が潮汐表の予測値と大きく異なるという現象が発生していることから、早鞆瀬戸における過去の潮流データの特異な変化に着目し、台風や異常気象との関係を確認することにより、通航船舶の安全に資することを目的として調査を行った。

本調査においては、2020年から2022年までの過去3年分の早鞆瀬戸潮流データにもとづき、異常な潮流変化（潮流表の予測値との流速差が継続して±3ノットを上回るもの）が見られる特異な事例を抽出するとともに、当該事例と台風や異常気象との関係性を確認した。

この結果、早鞆瀬戸で異常な潮流変化が発生するのは過去3年で6回程度であるが、いずれも台風が九州西側を通過する場合、冬場に季節風が強く吹く場合に多く発生する傾向が見られることが明らかとなった。

### 2 調査等概要

- (1) 調査計画
- (2) 早鞆瀬戸潮流データの整理
- (3) 早鞆瀬戸潮流データの解析
- (4) 台風や異常気象等が潮流に及ぼす影響の確認
- (5) 調査結果のまとめ